

マスターズ甲子園2019実行委員会（第1回）

日 時： 2019年6月8日（土）16:00～18:00

場 所： 神戸大学人間発達環境学研究科中会議室B

出席者： 大会特別顧問：樽谷

大会顧問：高橋

大会会長：多湖

実行委員：前崎、宝槻、高山、小川、北野、岡田、小菌、大久保、小林、杉山、谷、
菌田、長ヶ原

事務局：松村、松崎、青山、乾、山下、三浦、出戸

欠席者： 実行委員：戒能、高田、浪花、彦次

議 題：

- 1) 新実行委員会体制について
- 2) 全国高校野球OBクラブ連合加盟状況について（資料1-1、1-2、1-3）
- 3) マスターズ甲子園2018事業報告について（資料2-1、2-2）
- 4) マスターズ甲子園2019事業計画について（資料3-1、3-2）
- 5) マスターズ甲子園2019ホームページについて（資料6）
- 6) マスターズ甲子園2019特別企画案について（資料7）
- 7) その他

議事録

16:05より長ヶ原実行委員長（以下、委員長と称す）のあいさつにより開会。委員長より実行委員会の趣旨および議題について説明が行われた。

議題1) 新実行委員会体制について

委員長より、マスターズ甲子園2019実行委員会体制について、新たな実行委員として菌田実行委員、彦次実行委員を副実行委員長とする旨の提案があり、全会一致で承認された。

議題2) 全国高校野球OBクラブ連合加盟状況について（資料1-1、1-2、1-3）

●全国高校野球OBクラブ連合加盟状況（資料1-1）

委員長より、平成31年度全国高校野球OBクラブ連合加盟状況について、配布資料を基に議論を進める旨が説明された。前崎実行委員、宝槻実行委員、高山実行委員、小川実行委員、北野実行委員より、各ブロックの加盟状況と動向についての説明がなされ、新規加盟リーグについて本年度中に秋田、京都、香川の3県が新規リーグとして立ち上がる可能性があることが確認された。

●マスターズ甲子園2019大会概要（資料1-2）

委員長より、配布資料に基づいたマスターズ甲子園2019本大会のプログラム案について説明がなされた。委員長より、6月8日現在で決定している代表チームは埼玉県代表市立浦和OB、福島県代表郡山北工OB、愛知県代表国府OB、三重県代表久居OBであること、例年行っている甲子園キャッチ

ボール募集とボランティア募集を6月16日（日）正午より開始する旨が説明された。

●**マスターズ甲子園2020-2022シリーズ（資料1-3）**

委員長より、配布資料に基づき2020-2022シリーズについて説明がなされた。申請方法や申請時期についての詳細については理事会での協議内容をふまえて、次回以降の理事会ならびに実行委員会において引き続き検討していくことが確認され、全会一致で承認された。

議題3）マスターズ甲子園2018事業報告について（資料2-1、2-2）

委員長より、マスターズ甲子園2018事業報告ならびに、マスターズ甲子園2018実行委員会の収支決算書に関して説明がなされた。昨年の総会で認められた途中決算から、各収支項目について変更の確認が行われた。監査役の北野実行委員より、理事会および実行委員会の事業収支決算の監査報告が行われ、収支決算書について指摘すべき事項はなく適法かつ適正である旨が報告され、全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2018の両決算が原案通り承認された。

議論4）マスターズ甲子園2019事業計画について（資料3-1、3-2）

●**全国高校野球OBクラブ連合2018年度修正予算案（資料3-1）**

委員長より、2018年11月の総会にて承認された予算案から、2018年度の収支決算を踏まえて修正予算案について説明がなされた。2019年度予算計画の説明で、収入合計6,380千円（新規加盟費350千円・年会費6,030千円）支出合計6,380千円（大会補助費4,760千円・事務局運営費1,620千円）積立金350千円の修正予算案の報告がなされ、全会一致で承認された。

●**マスターズ甲子園2019実行委員会2019年度修正予算案（資料3-2）**

委員長より、2018年11月の総会にて承認された予算案から、2018年度の収支決算を踏まえて修正予算案について説明がなされた。2019年度予算計画の説明で、2018年度加盟校増加や特別協賛であるパナソニック株式会社の協賛内容について変更等があり、収入合計が23,643,568円（前年度繰越金予定含む・共催・広告・寄付・助成金等前年同様の計画）、球場使用料の値上げ等が予想されるため、支出合計23,643,568円（球場費・大会補助費・事務局費等）の修正予算案の報告がなされ、全会一致で承認された。

議論5）マスターズ甲子園2019ホームページについて（資料6）

委員長より、マスターズ甲子園2019予選大会の盛り上がりとメディア露出の増加に伴い、大会ホームページへのアクセス数が増加していることから、ホームページのリニューアルが必要であることが説明された。菌田実行委員より、トップページの変更案、地方予選大会ページの変更案、地方予選大会結果の更新方法に、変更時期については6月16日（日）正午を予定していることが説明された。杉山実行委員より、現在多くの人々がホームページを見る場合、スマートフォン・タブレット端末の利用率が非常に高いため、スマートフォン・タブレットユーザーにとって閲覧・利用しやすいホームページの改編が必要であるとの指摘があった。小菌実行委員より、地方予選大会の発信については公式 Facebook の更新者である各地方特配員のさらなる協力が必要であるとの指摘があった。トップページと地方予選大会ページのリニューアルについては6月16日（日）に実施し、スマートフォン・タブレット端末に対応した大幅なリニューアルは次回の実行委員会で3年シリーズを見据えたうえで、今後も実行委員会

ならびに事務局において検討を進めていくことが確認された。地方予選大会の発信方法に関しては、実行委員会ならびに事務局において、現在実施されている各予選大会での発信の取り組みをまとめ、まだ実施できていない各地方予選リーグに対して周知を行っていくことが確認された。

議題6) マスターズ甲子園2019特別企画案について(資料7)

小菌実行委員より、マスターズ甲子園の特別企画について説明がなされた。PL 学園OBのマスターズ甲子園大阪予選大会への参加によって起こっている現象とそれによる影響を実行委員会全体で共有し、大会価値の再認識を行うと共に、今後予想される現象に対しての準備、媒体力の向上、ブランド力強化と管理、そして共催である朝日新聞社との連携企画の提案がなされた。朝日新聞社との連携では、バーチャル高校野球やパーソナル号外の発行等の企画案が報告され、今後、提案された全ての企画案を進めていくことが承認された。

議題7) その他

●本大会での安全対策について

高山実行委員より、昨年のマスターズ甲子園2018大会2日目第四試合において、ファールボールが観客の子供の頭に当たり、緊急時マニュアルに従い、甲子園球場との協議の結果、迅速に救急車を呼んだことが報告された。今回の事故に関しては大事に至らなかったが、医療の方がすぐに連絡がつかないなど諸問題が発生しており、緊急時の連絡体制の強化や運営としてさらなる安全対策の強化を行うことが確認された。

●全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2019関連主要スケジュール

委員長より、配布資料に基づき2019年度事業スケジュールの説明がされた。8月10日に第2回全国高校野球OBクラブ連合理事会・マスターズ甲子園2019実行委員会(第2回)が神戸ポートピアホテルにて開催予定である旨、10月13日に第3回全国高校野球OBクラブ連合理事会・マスターズ甲子園2019実行委員会(第3回)が神戸大学にて開催予定である旨、11月8日にマスターズ甲子園2019大会前日プログラムが例年通りホテルヒューイト甲子園で開催される旨が報告された。第5回全国高校野球OBクラブ連合理事会については、2020年2月22日に神戸大学で開催予定である旨が報告された。

以上をもって議案の審議が終了し、委員長により18時21分に散会